

とろろこんぶシステム工房

日付印ぺったん フリー版 Ver1.3.8 Rel.4a

電子でぺったん

for Windows 7,Vista, WindowsXP

2012-2-29

とろろこんぶ

電子印鑑

<http://www.tororokonbu.jp/>

目次

	ページ
1. はじめに	2
1-1. 「日付印ぺったんフリー版 電子でぺったん」と「日付印ぺったん」の違い	
1-2. 動作環境	
2. インストール	3
2-0. インストールの準備	
2-1. インストール	
2-2. Excel/Word 押印メニュー	
2-3. アンインストール	
3. 押印	13
3-1. 日付印ぺったんオブジェクトの挿入	
3-2. 押印ダイアログ	
4. 押印情報の確認	19
5. 未押印オブジェクトの挿入	20
6. クリップボード転写	21
Appendix A レジストリに登録される日付印ぺったんオブジェクト	22
Appendix B セットアップツールに付加されているデジタル証明書について	23

日付印ぺったんフリーソフト版 「電子でぺったん」は日付印ぺったんからセキュリティー機能を省き、インストール/設定を大幅に簡素化したバージョンです。

個人的な使用を想定しており、3文字までの姓に対応できます。

企業内で用いる場合は日付印ぺったん製品版の利用をお勧めいたします。

日付印ぺったんについては次の URL を参照してください。

<http://www.tororokonbu.jp/pettan.html>

このマニュアルはとろろこんぶ電子印鑑シリーズ「日付印ぺったんフリー版 電子でぺったん」のインストール方法及び操作方法を記述したマニュアルです。
このマニュアルに従って実際に操作することにより、「日付印ぺったんフリー版 電子でぺったん」の標準的な使用法をマスターすることができます。

1. はじめに

日付印ぺったんフリー版電子でぺったんは日付印ぺったんのサブセットです。電子的に日付印（会社でよく使うあの3段で日付が中段にあるはんこ）を押印し、パソコン上で電子的に決済をするソフトウェアです。



このソフトウェアではOLEというテクノロジーを使って、日付印をデータに埋め込みます。例えば、ワードや一太郎などのOLE対応のワープロソフトには、オブジェクトの挿入という機能が用意されていますが、それを使って日付印ぺったんのオブジェクトを文書中に埋め込むことができます。

1-1. 「日付印ぺったんフリー版 電子でぺったん」と「日付印ぺったん」の違い

電子でぺったんは日付印ぺったんからセキュリティ機能を省き、インストール/設定作業を大幅に簡素化したバージョンです。セキュリティがありませんので企業内で用いるには問題があるかもしれませんが、個人的に用いるには十分な機能です。

機能	日付印ぺったんフリー版	日付印ぺったん
押印時にパスワードを必要とするか？	必要としない。	必要。
押印ログファイルを出力できるか。	出力不可	出力可能
押印登録	1名のみ	複数名
文字数制限	上段と下段合わせて 全角3文字 。姓を入れることを想定しています。	制限無し。所属名なども入れられます。
上段	1段のみ	1段または2段

日付印ぺったんについての詳細は次のサイトを参照してください。

<http://www.tororokonbu.jp/pettan.html>

1-2. 動作環境

このソフトウェアは次のOS上で動作します。

- Windows 7 (64bit/32bit)
- Windows Vista
- WindowsXP

2. インストール

2-1. インストールの準備

インターネット上からダウンロードなどして入手した場合はファイル名が pettanfree****.zip になっております。解凍ツールを用いて解凍してください。

解凍によって インストーラ setup.exe が生成されます。

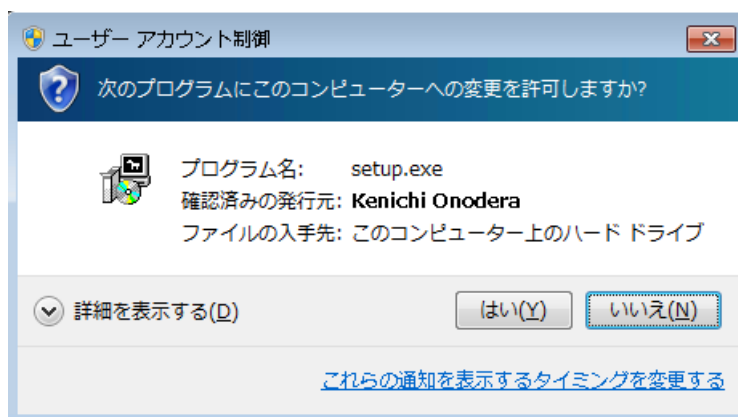
2-2. インストール

手順0) 管理権限のあるユーザで Windows にログインします。
Excel/Word が起動している場合は終了させてください。

手順1) setup.exe をエクスプローラ上でダブルクリックするなどして実行します。

【Windows 7 の場合】

右図の表示が出ますのでボタン
[はい]をクリックしてください。



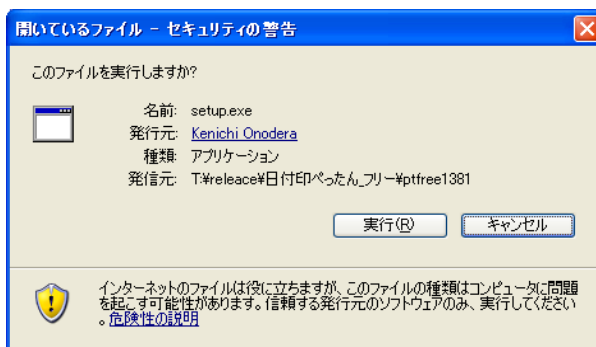
【Windows Vista の場合】

右図の表示が出ますのでボタン
[続行]をクリックしてください。



【WindowsXP の場合】

右図の表示が出ますのでボタン「実行」をクリックしてください。

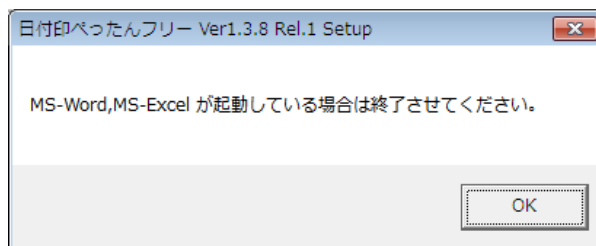


インストーラを起動すると確認のメッセージが表示されますのでボタン「はい」をクリックします。



MS-WORD,MS-EXCEL が起動されている場合は終了させてください。

起動していると正常に押印メニューがWORD,EXCEL に追加されない場合があります。



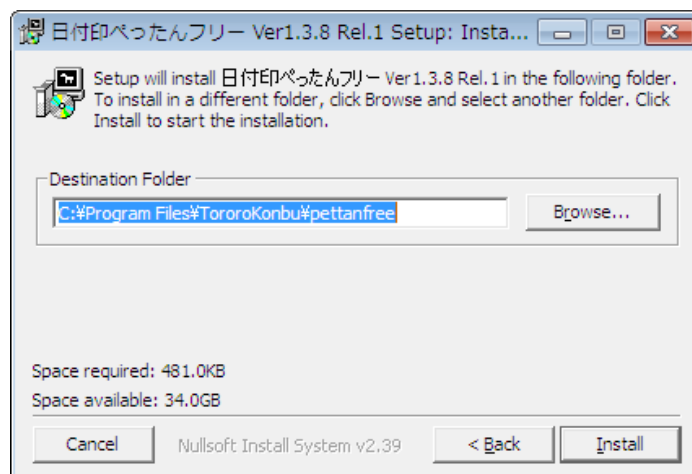
インストールするモジュールを選択します。



押印メニュー(Excel2010/Word2010 用)	Excel2010 および Word2010 用の押印メニューアドインがインストール。Office2010(64bit 版/32bit 版)で日付印ぺったんを用いる場合は選択してください。
押印メニュー(Excel2007/Word2007 用)	Excel2007 および Word2007 用の押印メニューアドインがインストール。Office2007 で日付印ぺったんを用いる場合は選択してください。
押印メニュー(Excel2003-2000 /Word2003-2000)	Excel2003,2002,2000 および MS-Word2003,2002,2000 用の押印メニューアドインがインストールされます。Office2003,2002,2000 で日付印ぺったんを用いる場合は選択してください。
日付印ぺったん(pettanin.exe)	日付印ぺったんの押印ツールです。

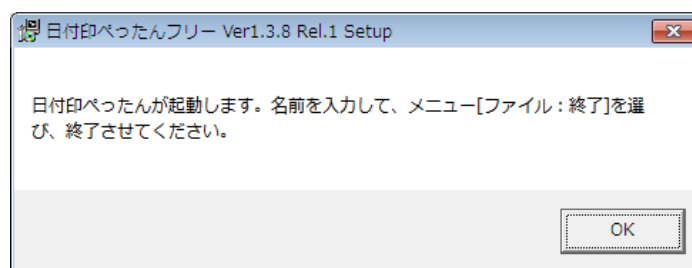
インストール先を指定します。

通常はデフォルトのままで問題ありません。



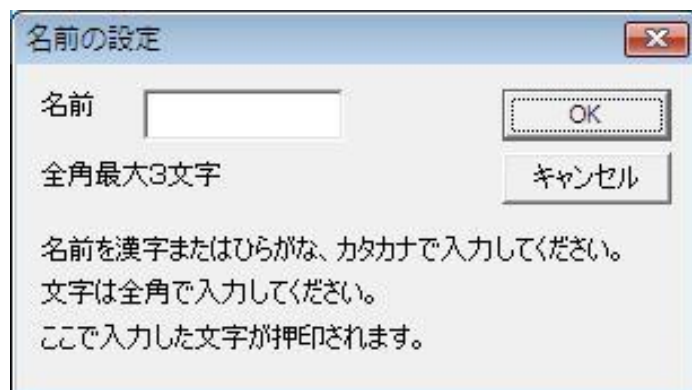
インストール実行後、自動的に日付印ぺったんの実行モジュール pettanin.exe が起動します。

日付印ぺったん pettanin.exe は必要な情報をレジストリに書きこみます。



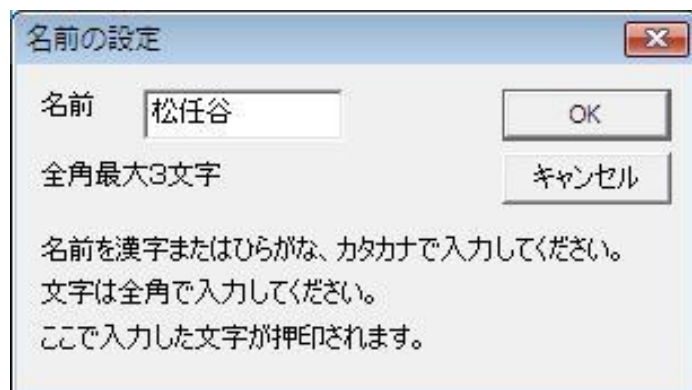
日付印ぺったんフリー版を初めてインストールした場合は名前の入力ダイアログが開きます。

日付印として設定する名前を漢字（全角文字）で入力してください。入力できる文字数は最大3文字までです。



日付印として設定する名前を漢字（全角文字）で入力してください。入力できる文字数は最大3文字までです。

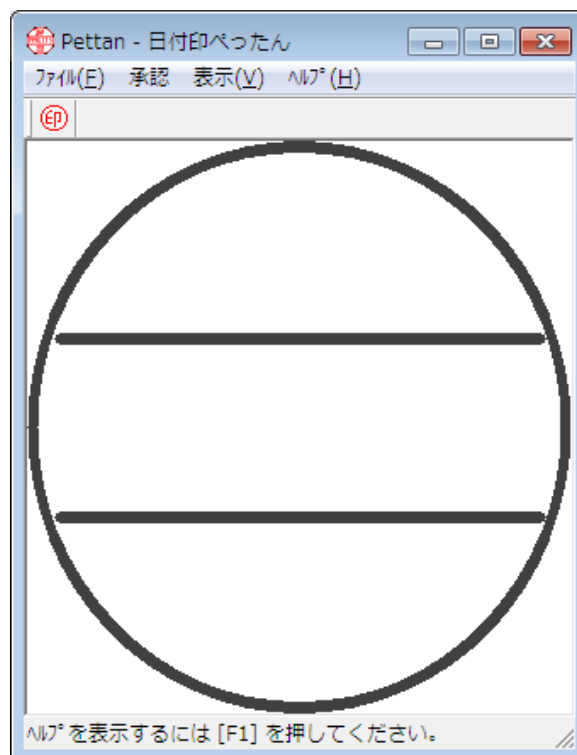
この例では「松任谷」と入力していますが、自分の名前を入力してください。



日付印ぺったん pettanin.exe が起動します。

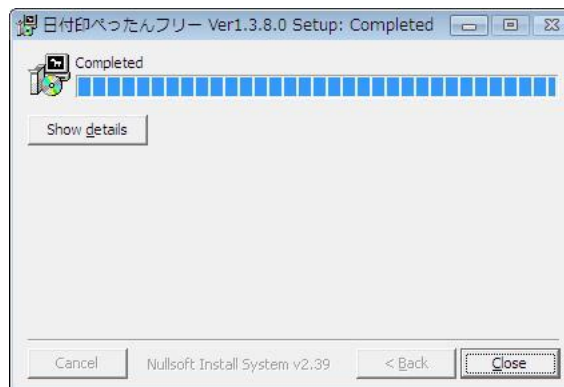
メニュー[ファイル:終了]を選択し、終了します。

参考) この起動により、日付印ぺったんのクラスIDなどの情報がレジストリに書き込まれます。
なお、レジストリに書き込まれた情報はアンインストーラを実行することにより削除されます。



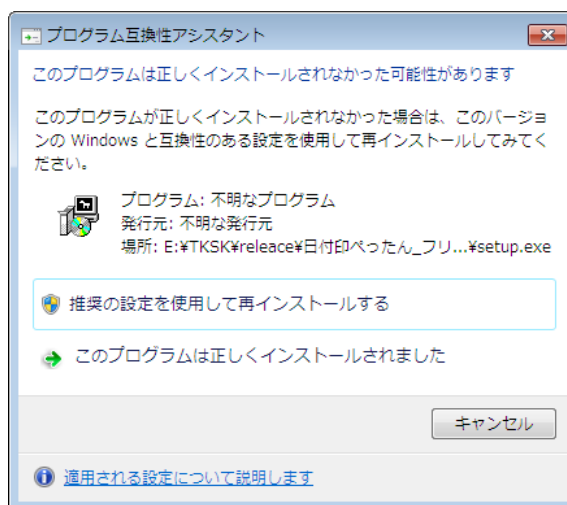
Completed が表示されればインストールは完了です。

ボタン[Close]をクリックしてインストーラを閉じます。



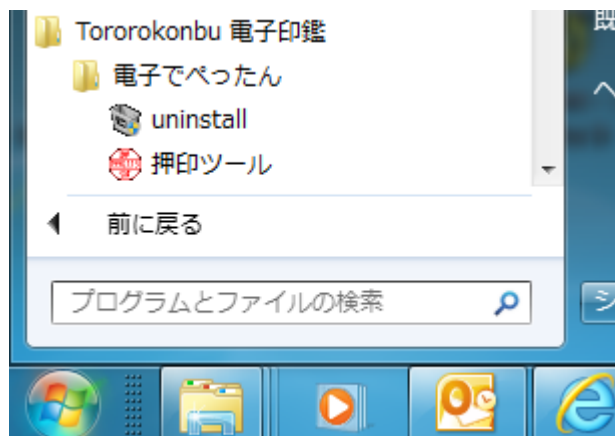
注意) Windows 7/Vista の場合、インストール終了後、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります。」と表示されることがあります。

「このプログラムは正しくインストールされました。」を選択します。
(右図)



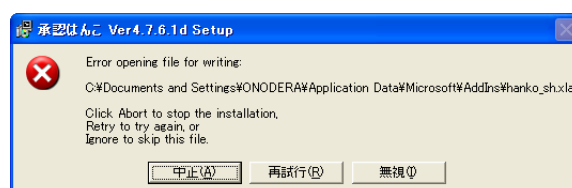
以上でインストールは終了です。

スタートメニューにインストールしたモジュールが登録されていることを確認してください。

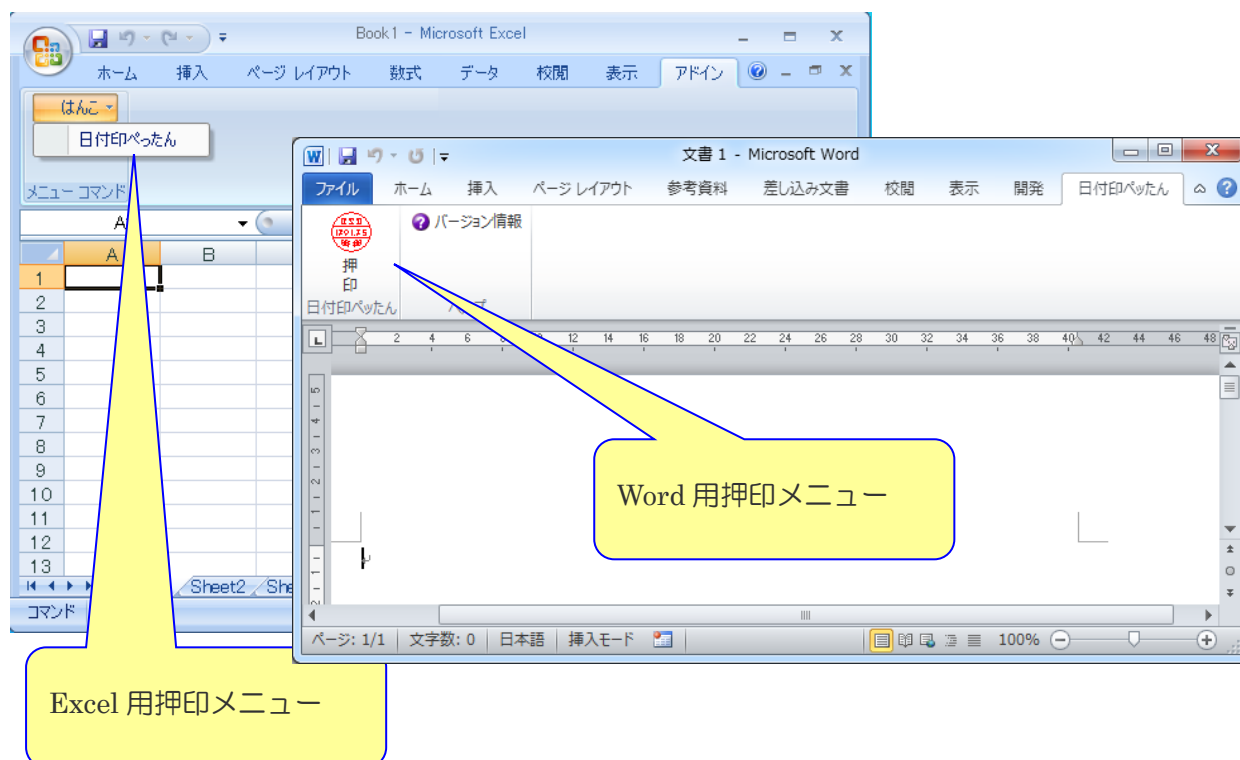


注) Excel あるいは Word を起動したままインストーラを実行すると「Error opening for writing..」のエラーが表示されます。

ボタン「中止」を選択し、Excel/Word を終了させ、インストーラを再実行させてください。



2-3. Excel/Word 押印メニュー



インストーラで、押印メニュー を選んだ場合は Excelアドインマクロファイル および Word テンプレートファイル が組み込まれています。次のフォルダーに配置されています。

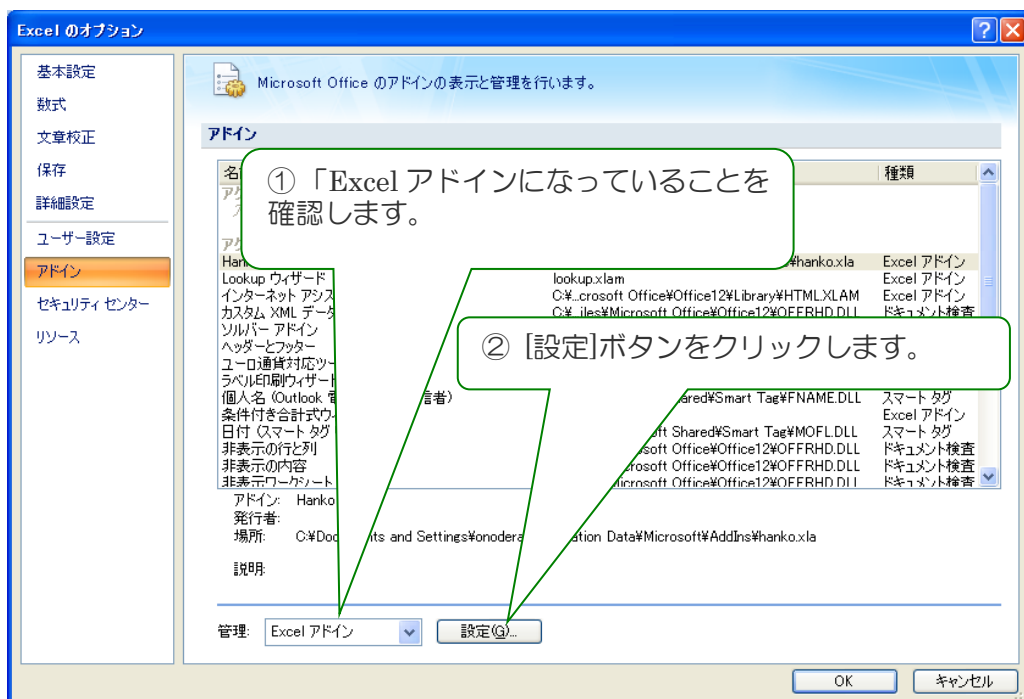
ファイル名	配置フォルダー
Excel アドインマクロファイル e-SealMenu64_pt.xlam e-SealMenu_pt.xla	<p>【WindowsXP および Windows2000 の場合】 C:\¥Documents and Settings¥ユーザ名¥Application Data¥Microsoft¥AddIns</p> <p>【WindowsVista および Windows7 の場合】 C:\¥ユーザ¥ユーザ名 ¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥AddIns</p>
Word アドインマクロテンプレートファイル e-SealMenu_pt.dot eSealMenu2007jpn_pt.dotm eSealMenu2010jpn_pt.dotm	<p>【WindowsXP および Windows2000 の場合】 C:\¥Documents and Settings¥ユーザ名¥Application Data¥Microsoft¥Word¥STARTUP</p> <p>【WindowsVista および Windows7 の場合】 C:\¥ユーザ¥ユーザ名 ¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Word¥STARTUP</p>

2-3-1. Excel 押印メニューの組み込み

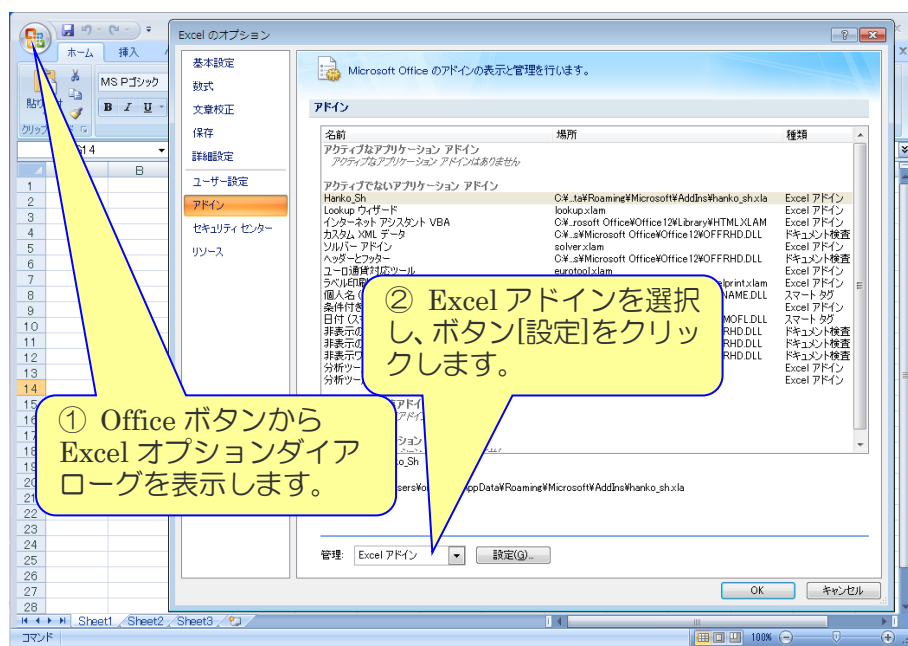
手順 1) Excel オプションダイアログを開きます。

Excel アドインを選択し、ボタン[設定]をクリックします。

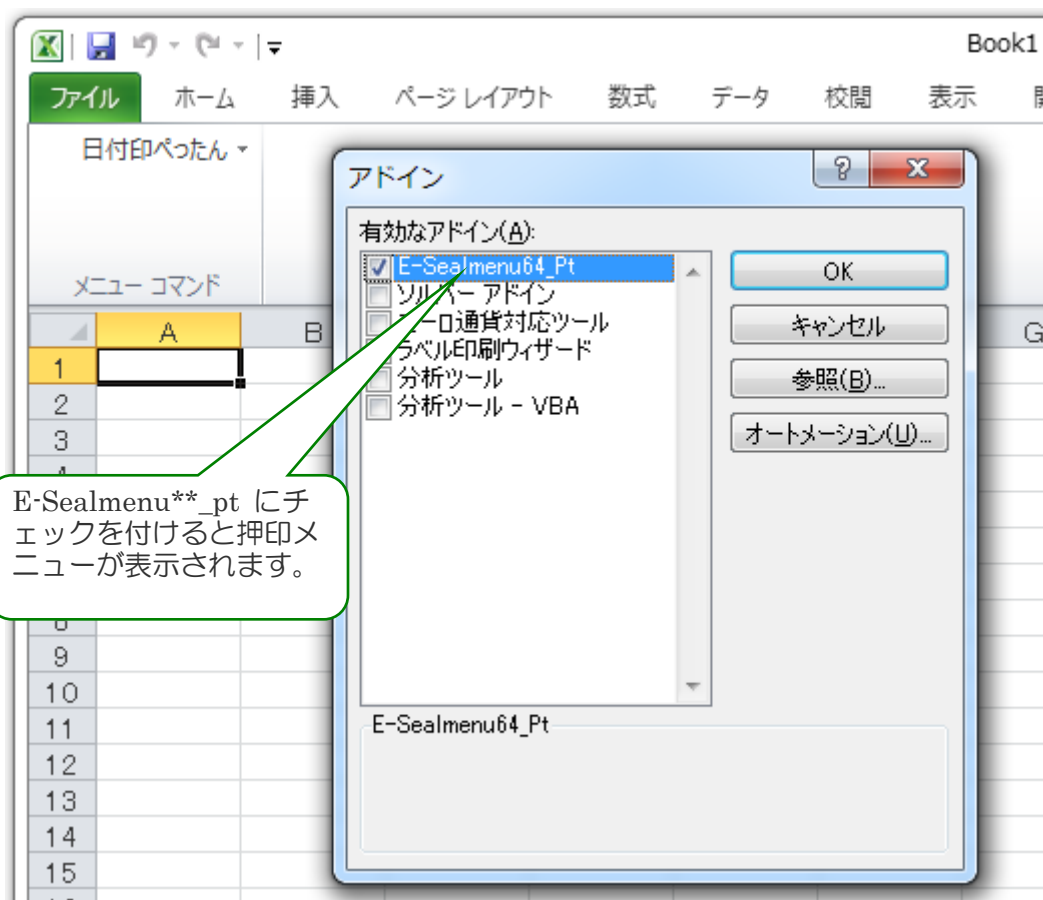
Excel2010 の場合



Excel2007
の場合



Excel2003 の場合はメニュー[ツール：アドイン]でアドインダイアログを開きます。



アドインマクロダイアログを開き、e-sealmenu**_pt にチェックを入れてください。

e-SealMenu_pt にチェックを付けると押印メニューが表示されます。

アドインマクロダイアログの表示方法については「Excel での使用ガイド：アドインマクロの組み込み」を参照ください。下記からダウンロードできます。

MS-Excel メニューバー

http://www.tororokonbu.jp/office_menubar/menubar_excel.html

2-3-2. Word 押印メニューの組み込み

Word は特に設定は必要ありません。

Exce/Word/PowerPoint 用押印メニューバーについて詳しくは下記ホームページからドキュメントをダウンロードしてご利用ください。

MS-Word メニューバー

http://www.tororokonbu.jp/hanko_wordmenubar.html

MS-Excel メニューバー

http://www.tororokonbu.jp/hanko_excelmenubar.html

MS-PowerPoint メニューバー

http://www.tororokonbu.jp/hanko_ppointmenubar.html

2-3. アンインストール

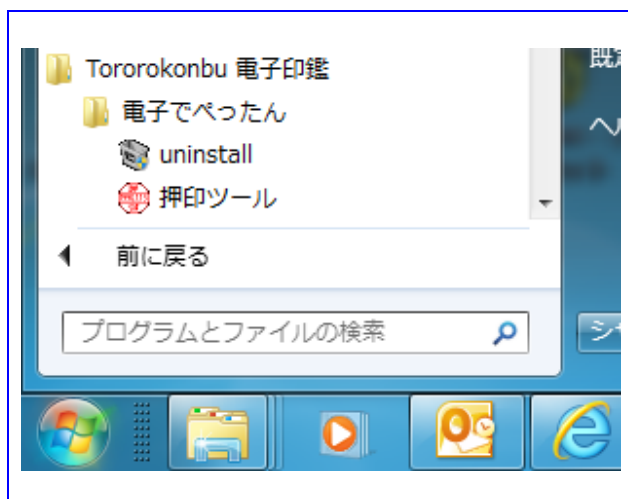


図 2-11 スタートメニューから uninstall を選択するとアンインストーラが起動します。

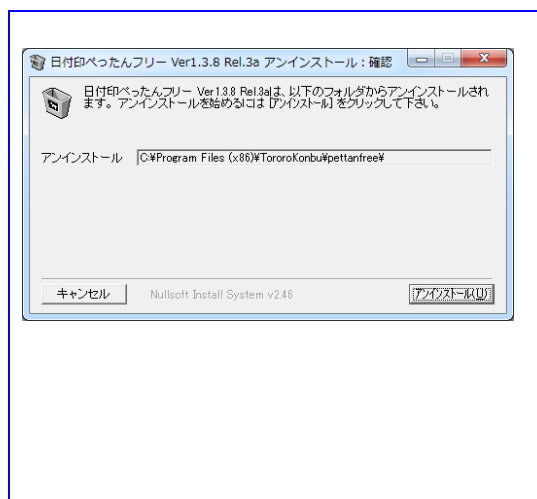


図 2-12 アンインストーラが起動します。ボタン [uninstall] をクリックするとアンインストールが実行されます。

アンインストールはスタートメニュー[とろろこんぶ電子印鑑：uninstall] を選択すると実行されます。
日付印ぺったんのインストーラがインストールしたファイルおよびレジストリに登録した情報が削除されます。

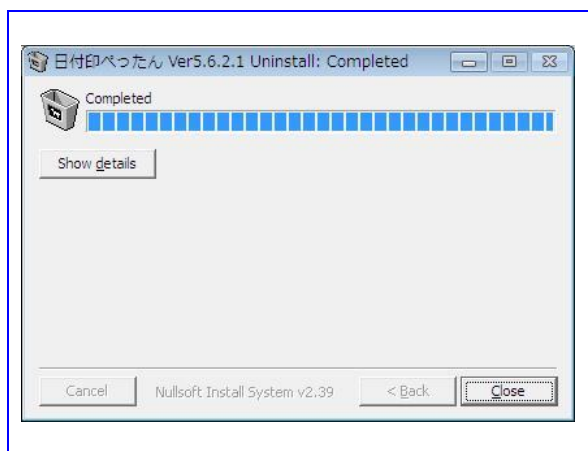


図 2-13 ボタン [Close] をクリックして終了します。

日付印ぺったんがレジストリに登録する情報については「Appendix A. レジストリに登録される日付印ぺったんオブジェクト」を参照してください。

3. 押印

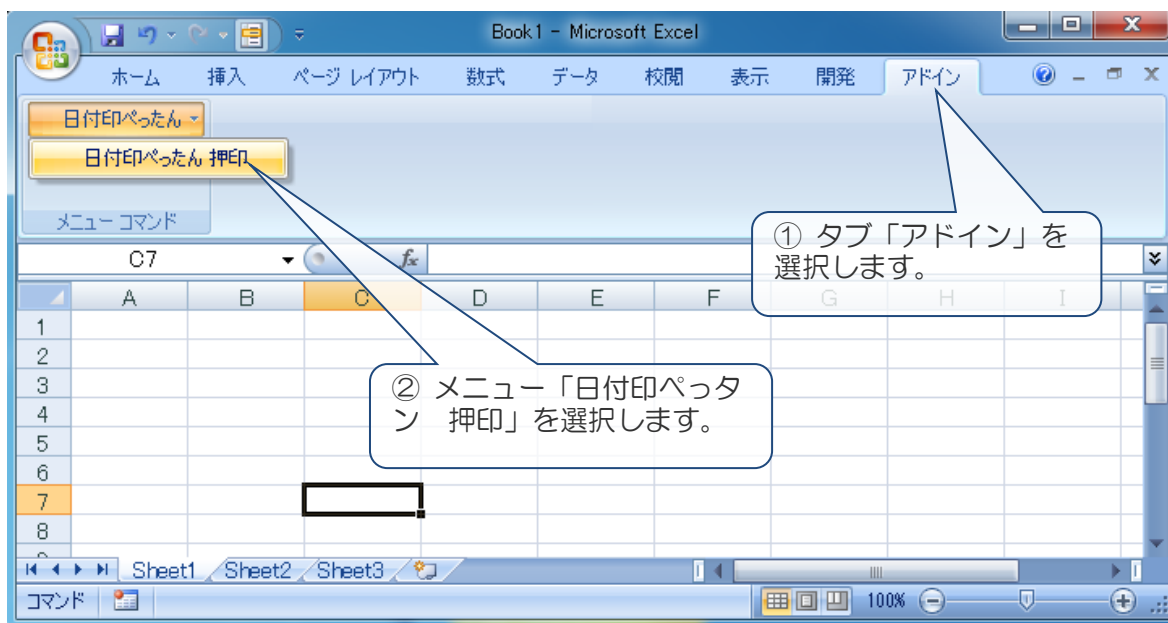
MS-Word や MS-Excel など OLE 対応アプリケーションには OLE オブジェクトの挿入機能があります。電子印鑑「日付印ぺったん」はこの OLE オブジェクトとして挿入されます。

Excel を例に、押印メニューを用いて押印する方法と、押印メニューを用いない方法（手動）について説明いたします。

3-1. 「日付印ぺったん」こオブジェクトの挿入

3-1-1. Excel 押印メニューを用いての Excel への押印

Excel を起動します。

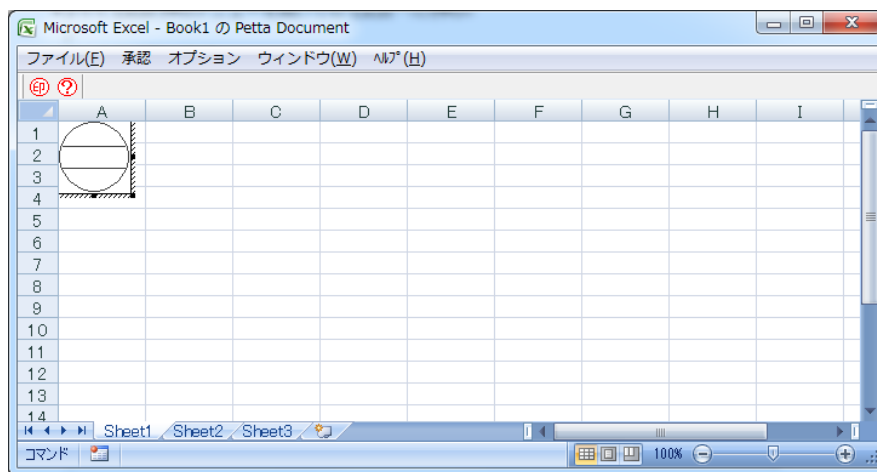


メニュー「承認はんこ 押印」を選択すると押印されます。

「日付印ぺったんオブジェクト」が挿入されます。

日付印ぺったんオブジェクトはアクティブとなっています。

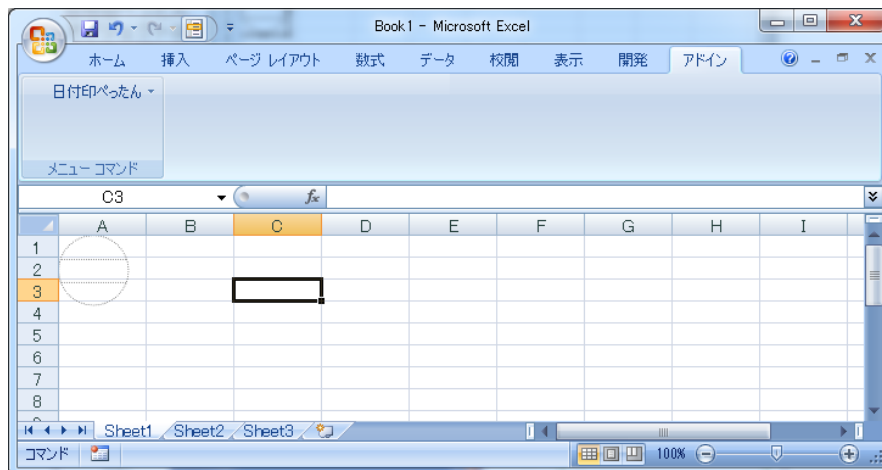
Excel のメニュー、ツールバーが日付印ぺったんのメニューに入れ変わっています。



オブジェクト以外の部分をクリックすればオブジェクトのアクティブな状態は解除されます。

メニューは Excel のメニューに戻ります。

日付印の印影は未押印（押印ダイアログを用いて押印していない状態）のため破線になっています。



3-1-2. 手動での Excel への押印

Excel/Word には押印メニューが用意されていますが、一太郎など押印メニューが用意されていないアプリケーション上で押印する場合は手動で押印します。

Excel を例に説明いたしますが、他の OLE 対応アプリケーションでも操作は殆ど同じになります。

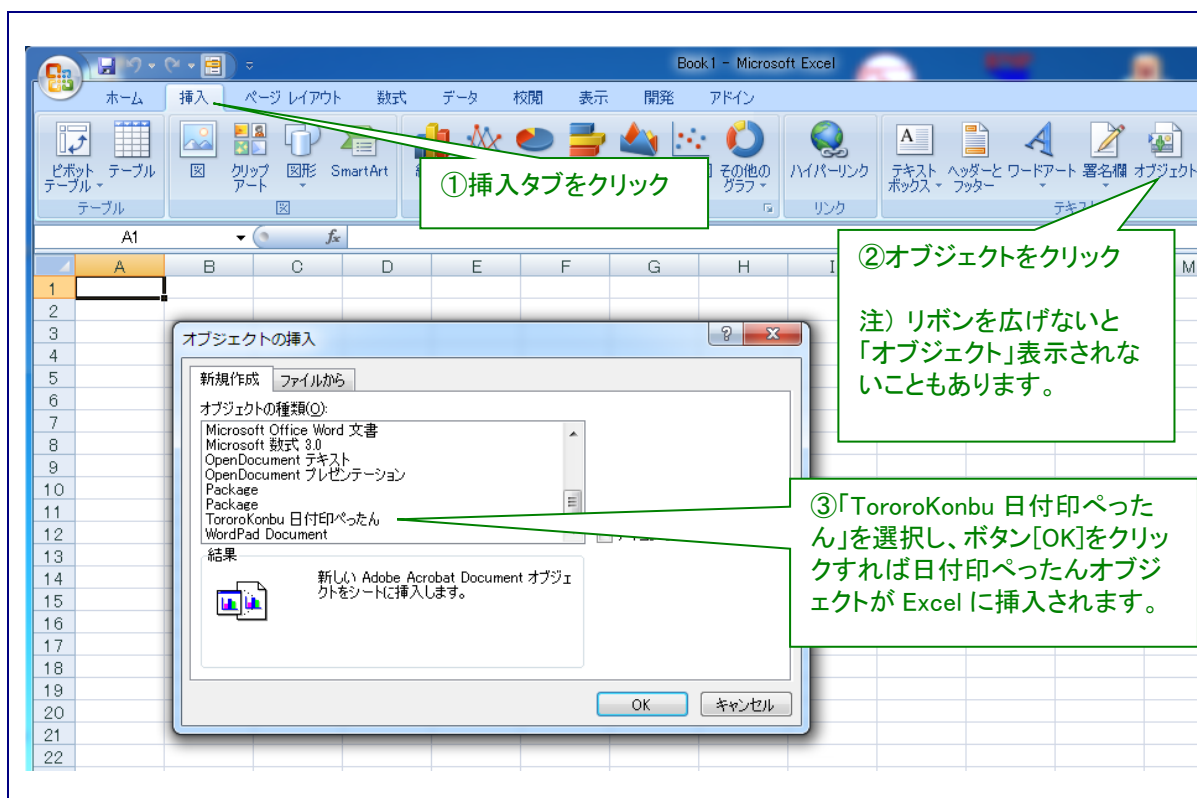


図 3-1 Excel2007 に押印する例。オブジェクトの挿入ダイアログに「TororoKonbu 日付印ぺったん」がリストされていることを確認してください。

MS-Word や MS-Excel など OLE 対応アプリケーションには OLE オブジェクトの挿入機能があります。電子印鑑「日付印ぺったん」はこの OLE オブジェクトとして挿入されます。

MS-Word の場合の「日付印ぺったん」オブジェクトの挿入操作手順は次のようになります。MS-Excel など他の OLE 対応アプリケーションでも操作は殆ど同じです。

手順 1) MS-Word など OLE 対応アプリケーションの文書が開いた状態にします。

手順 2) メニュー「挿入」->「オブジェクト」を選択します。(図 3-1)

手順 3) 「オブジェクトの種類」リストボックスから「日付印ぺったん」あるいは「Tororokonbu Pettan」を選び、OK ボタンをクリックします。(図 3-2)

「ぺったんオブジェクト」が挿入されます。(図 3-3)

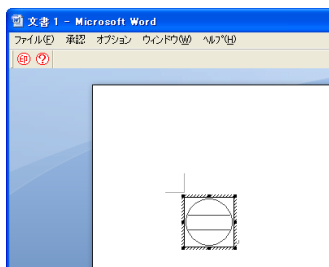


図 3-3 日付印ぺったんオブジェクトが挿入され、アクティブとなっている。メニューが日付印ぺったんのメニューに入れ変わっている。

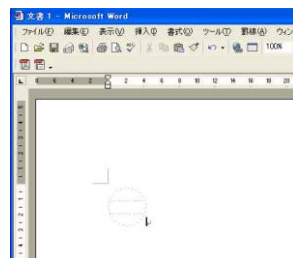

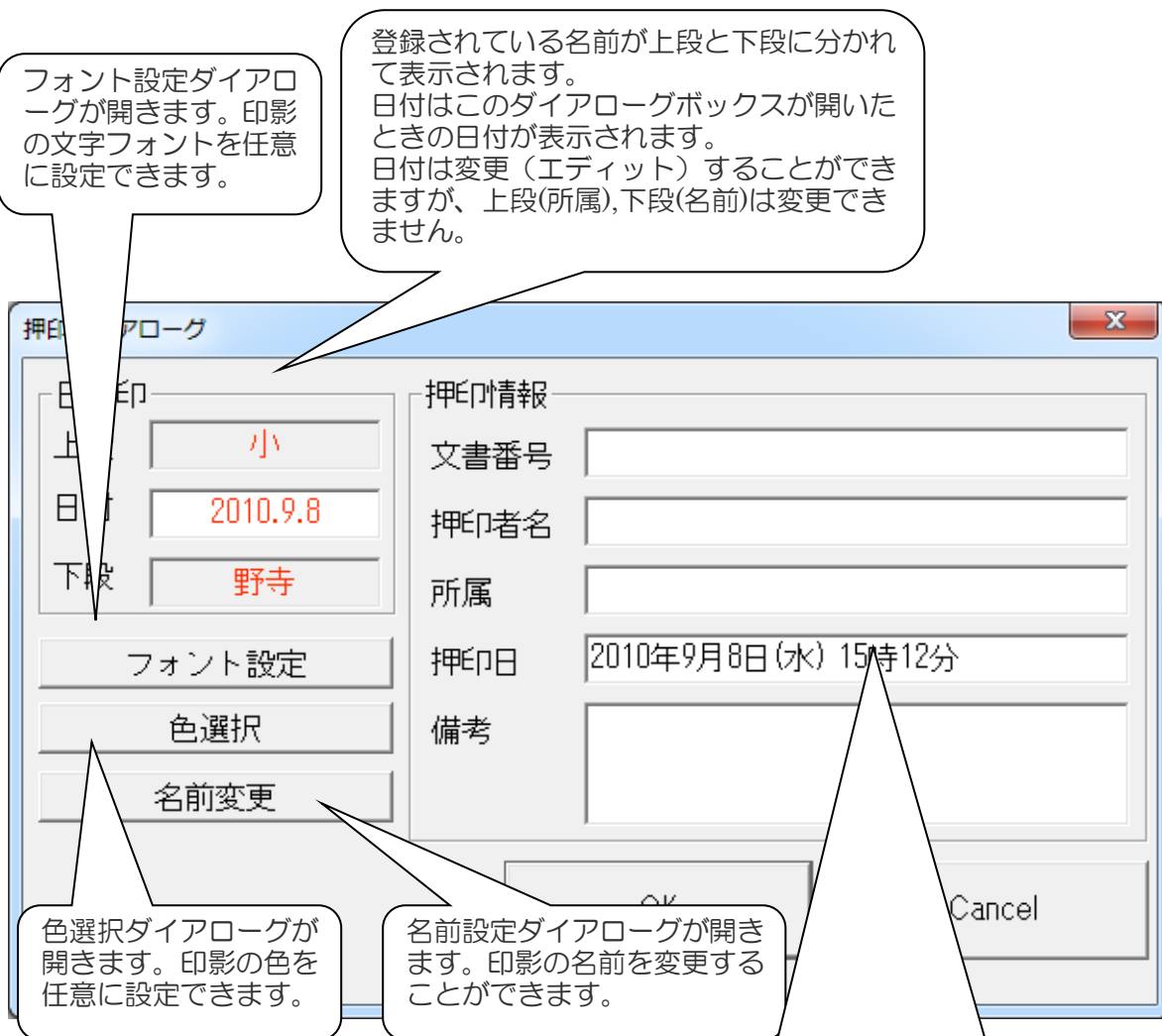


図 3-4 オブジェクト以外の部分をクリックすればオブジェクトがアクティブな状態は解除され、メニューは MS-Word のメニューに戻る。日付印の印影は未押印のため破線になっている。

3-2. 押印ダイアログ

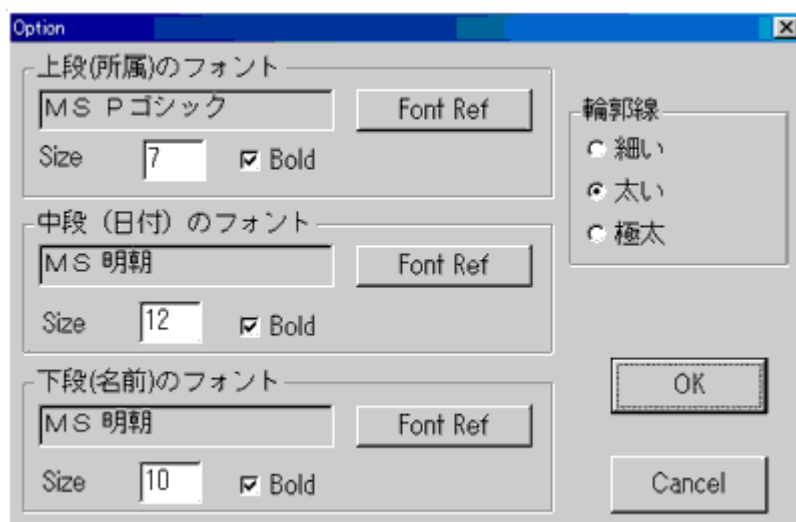
「日付印ぺったん」オブジェクトがアクティブな状態ではメニュー及びツールバーは日付印ぺったんにメニュー/ツールバーに入れ替わっています。

メニュー「承認」->「承認押印」を選択するか、ボタン をクリックすることにより押印ダイアログが表示します。

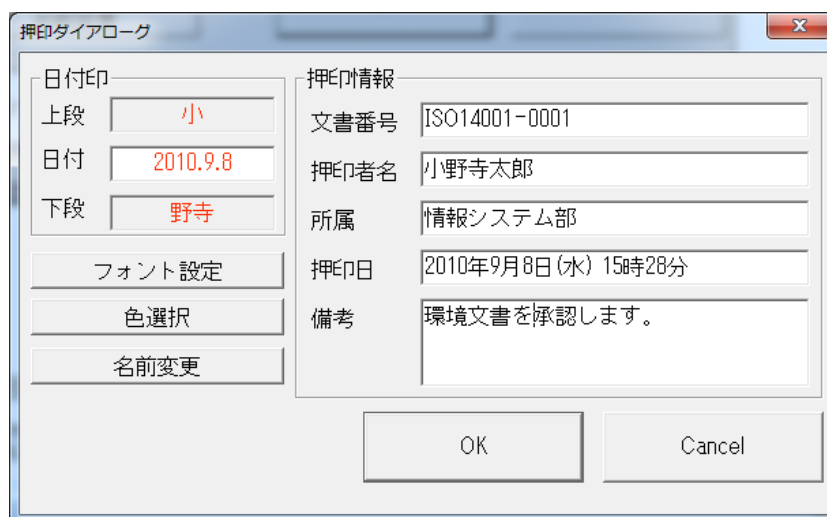
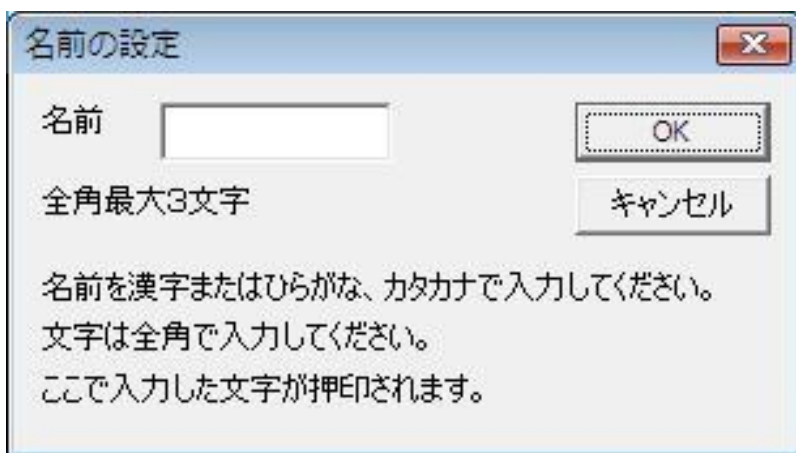


文書番号、承認者名、所属、承認日、承認項目を入力することができます。入力されたこれらの情報はぺったんオブジェクト（OLEオブジェクト）に挿入されます。印影自体には表示されません。押印情報確認機能で表示できます。
承認者名、所属、承認項目については、前回承認時に入力したものが表示されます。なお、この承認者名、所属、承認項目は編集（エディット）できます。
承認日にはこのダイアログボックスが開いたときの日付と時刻が表示されます。

フォント設定ダイアログ



名前変更ダイアログ



押印情報を入力し、OK ボタンをクリックすれば、押印されます。

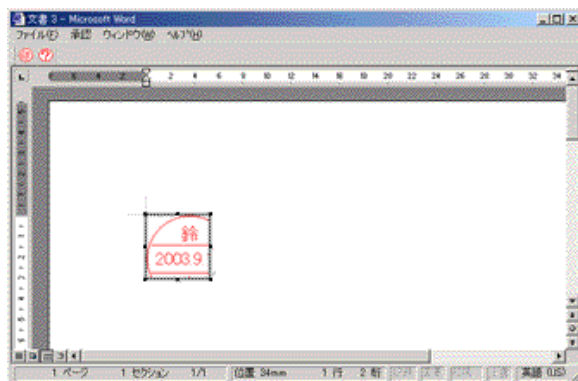


図 3-5 日付印ぺったんオブジェクトがアクティブな状態になっている。

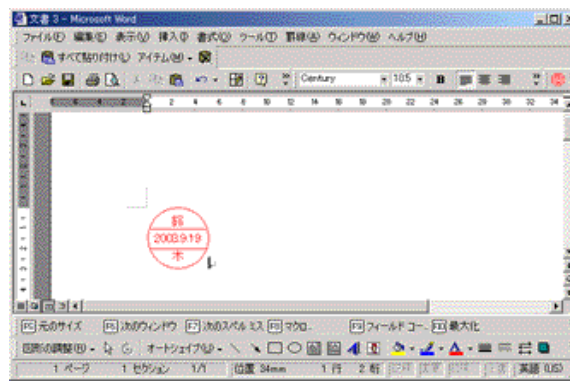


図 3-6 日付印ぺったんオブジェクト以外の部分をクリックすれば、MS-WORD のメニューに戻ります。

日付印ぺったんオブジェクトがアクティブな状態になっていますが、日付印ぺったんオブジェクト以外の部分をクリックすれば、MS-WORD のメニューに戻ります。(図 3-5,3-6)

以上で押印についての説明は終わりです。問題なく押印できましたでしょうか。


注) 文字サイズが小さすぎる場合は、フォントサイズを変更してください。フォントサイズは承認ダイアログ中のオプションボタンをクリックして表示されるオプションダイアログで行ってください。

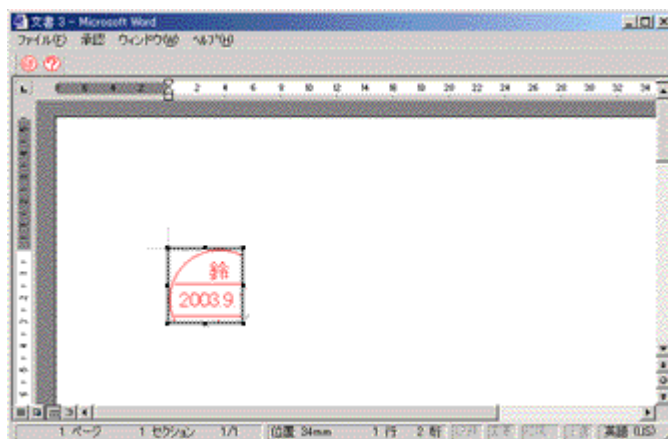
次は、押印時に入力した承認情報を確認します。

4. 押印情報の確認


日付印ぺったんオブジェクトには押印情報が保持されています。この押印情報を確認する機能が日付印ぺったんには備わっています。

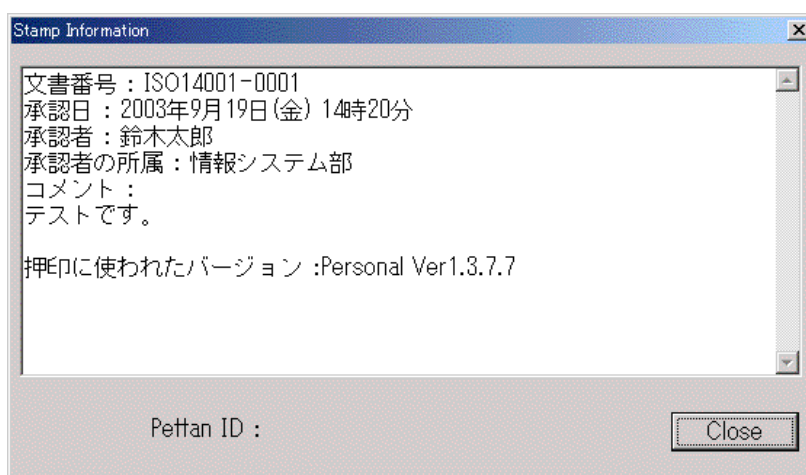
手順1) 日付印ぺったんオブジェクトをダブルクリックし、アクティブにします。(図 4-1)

手順2) メニュー「承認」->「承認確認」を選択するかボタン  をクリックします。
押印情報確認ダイアログが開き、押印時に入力した情報が確認できます。(図 4-2)



メニュー及びツールバーボタンは日付印ぺったんのものに入れ替わっています。

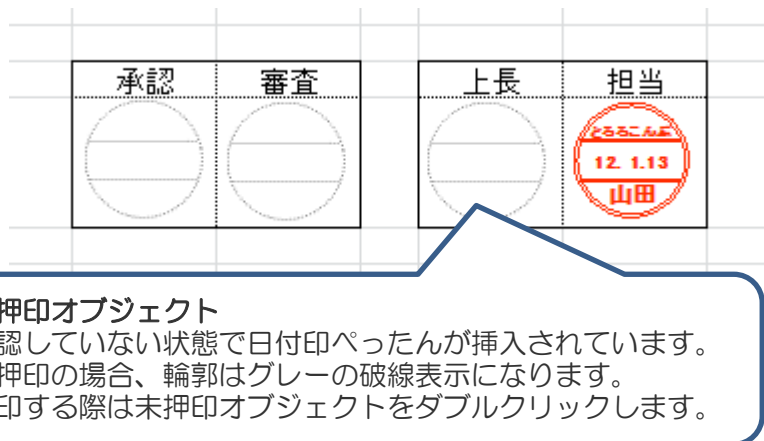
手順2) メニュー「承認」->「承認確認」を選択するかボタン  をクリックします。
承認確認ダイアログが開き、押印情報が確認できます。



手順3) ボタン「Close」をクリックし、押印情報ダイアログを閉じ、ワードを終了します。

5. 未押印オブジェクトの挿入

議事録や報告書などに押印する場合、あらかじめ定型用紙にはんこオブジェクトを挿入しておくことで便利です。下の例は、MS-EXCEL の罫線描画機能を用いて、承認と審査の枠を作成し、枠の中に日付印ぺったんオブジェクトを挿入したものです。まだ、承認を受けていませんので、印影はグレーの破線で表現されています。



この状態を作成するのは簡単です。日付印ぺったんを通常の方法で挿入し、押印しなければこの状態になります。押印してない状態では日付印ぺったんオブジェクトは上の図のようにグレーの破線になっています。未押印オブジェクトをダブルクリックし、未押印オブジェクトをアクティブ化すれば、押印することができます。

このように定型様式にあらかじめ日付印ぺったんオブジェクトを挿入しておけば、押印場所の移動などに手間取ることがなくなります。

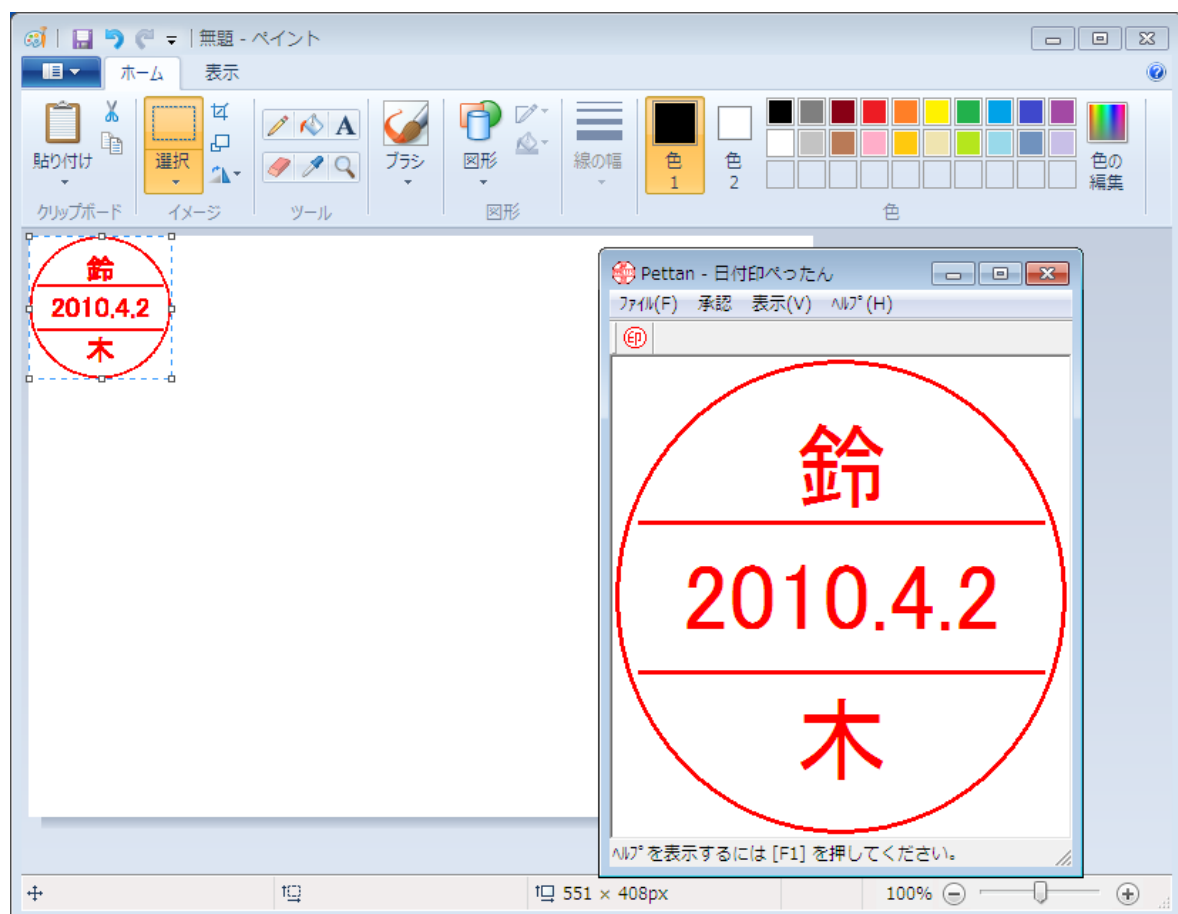
6. クリップボード転写

OLE に対応していないアプリケーションを用いて文書を編集している場合、オブジェクトの挿入機能がないため押印できません。

そのような場合には、クリップボード経由で印影イメージを文書に押印することができます。

日付印ぺったんを起動し、押印すれば印影イメージがクリップボードに転写されます。

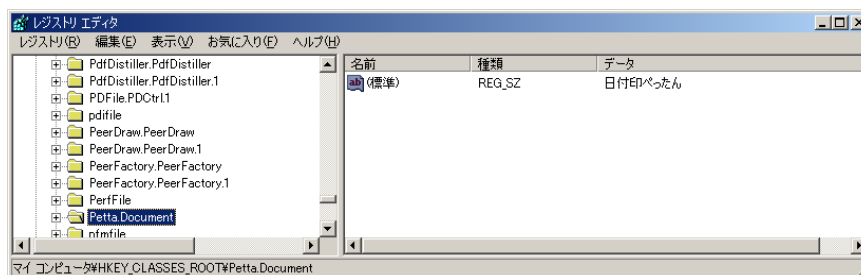
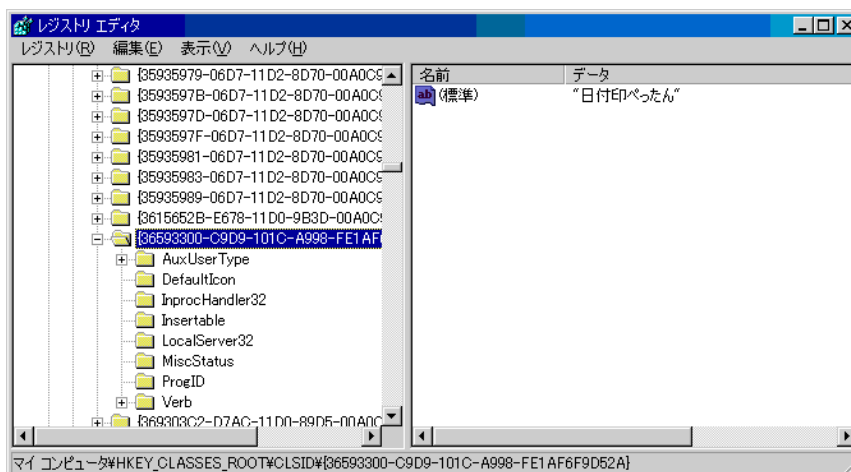
下の例は OLE に対応していないペイントに対してクリップボード経由で押印した例です。



Appendix A. レジストリに登録される日付印ぺったんオブジェクト

日付印ぺったんをインストールするとレジストリに次の2つが登録されます。
なお、アンインストールの起動によって自動的に削除されます。

- ① HKEY_CLASS_ROOT¥CLSID¥{36593300-C9D9-101C-A998-FE1AF6F9D52A}
- ② HKEY_CLASS_ROOT¥ Petta.Document



C-1. レジストリエディタ

レジストリの内容を確認するにはレジストリエディタ (regedit.exe) を用います。

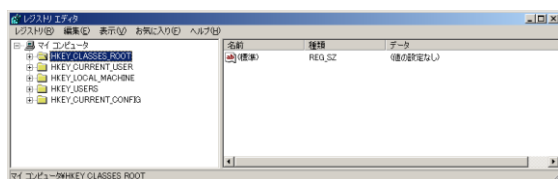


図 C-1 レジストリエディタを起動する

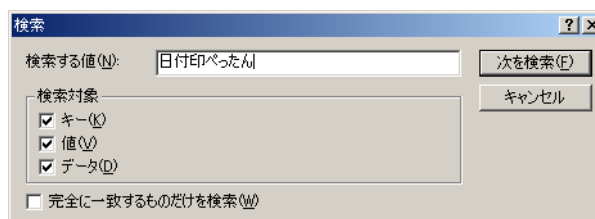


図 C-2 「日付印ぺったん」を検索する

手順0) 管理権限のあるユーザで Windows にログインします。

手順1) レジストリエディタ (regedit.exe) を起動します。(図 C-1)

スタートボタン → 「ファイル名を指定して実行」を選択し、regedit と入力し、OK ボタンをクリックします。レジストリエディタが起動されます。

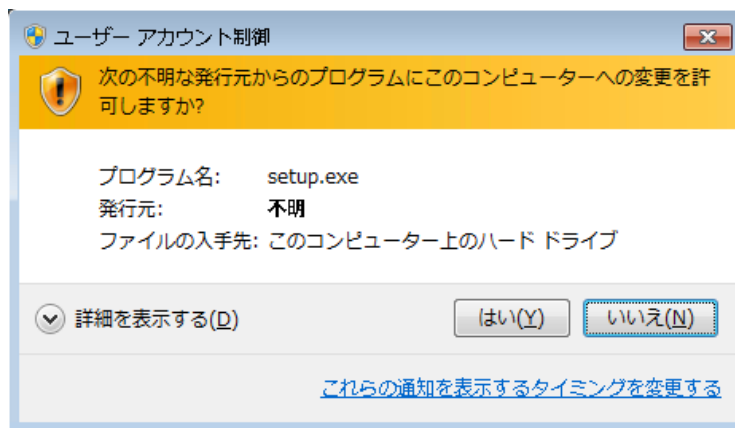
Appendix B. セットアップツールに付加されているデジタル証明書について

インストーラ setup.exe には グローバルサイン社発行のとろろこんぶシステム工房 代表 小野寺健一(Kenichi Onodera) のデジタル証明書が付加されています。

パソコンにグローバルサイン社のルート証明書がインストールされていない場合はインストーラ実行時に次のメッセージが表示されます。

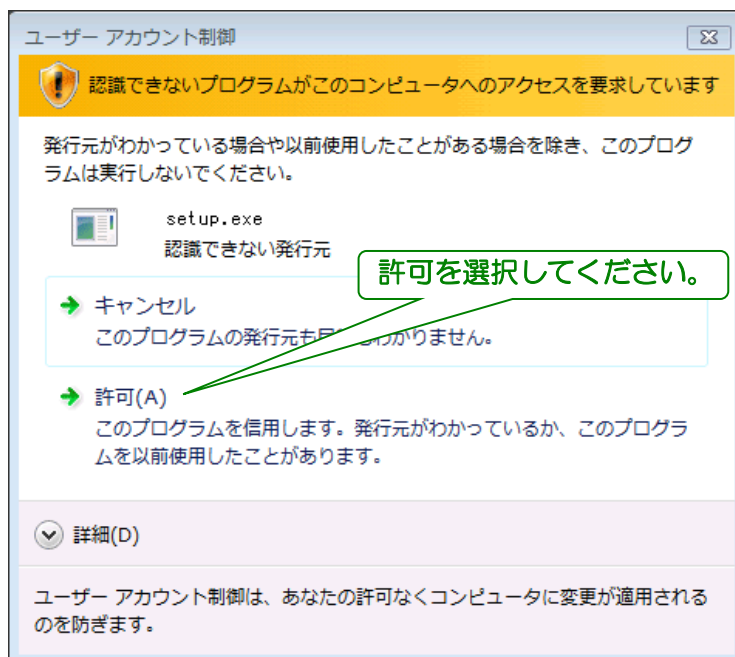
【Windows 7 の場合】

右図の表示が出ますのでボタン「はい」をクリックしてください。



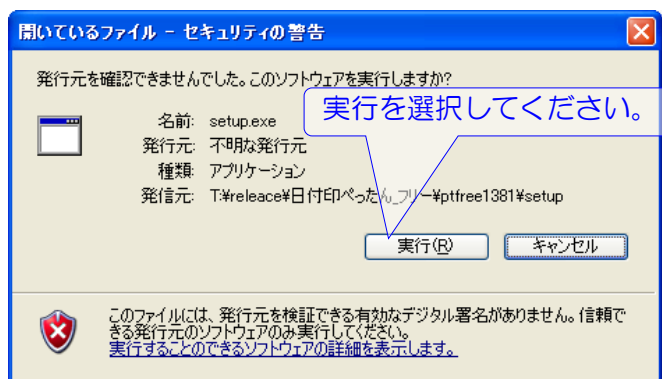
【Windows Vista の場合】

「認識できないプログラムがこのコンピューターへのアクセスを要求しています」と表示されますので、「許可 (A)」を選択してください。

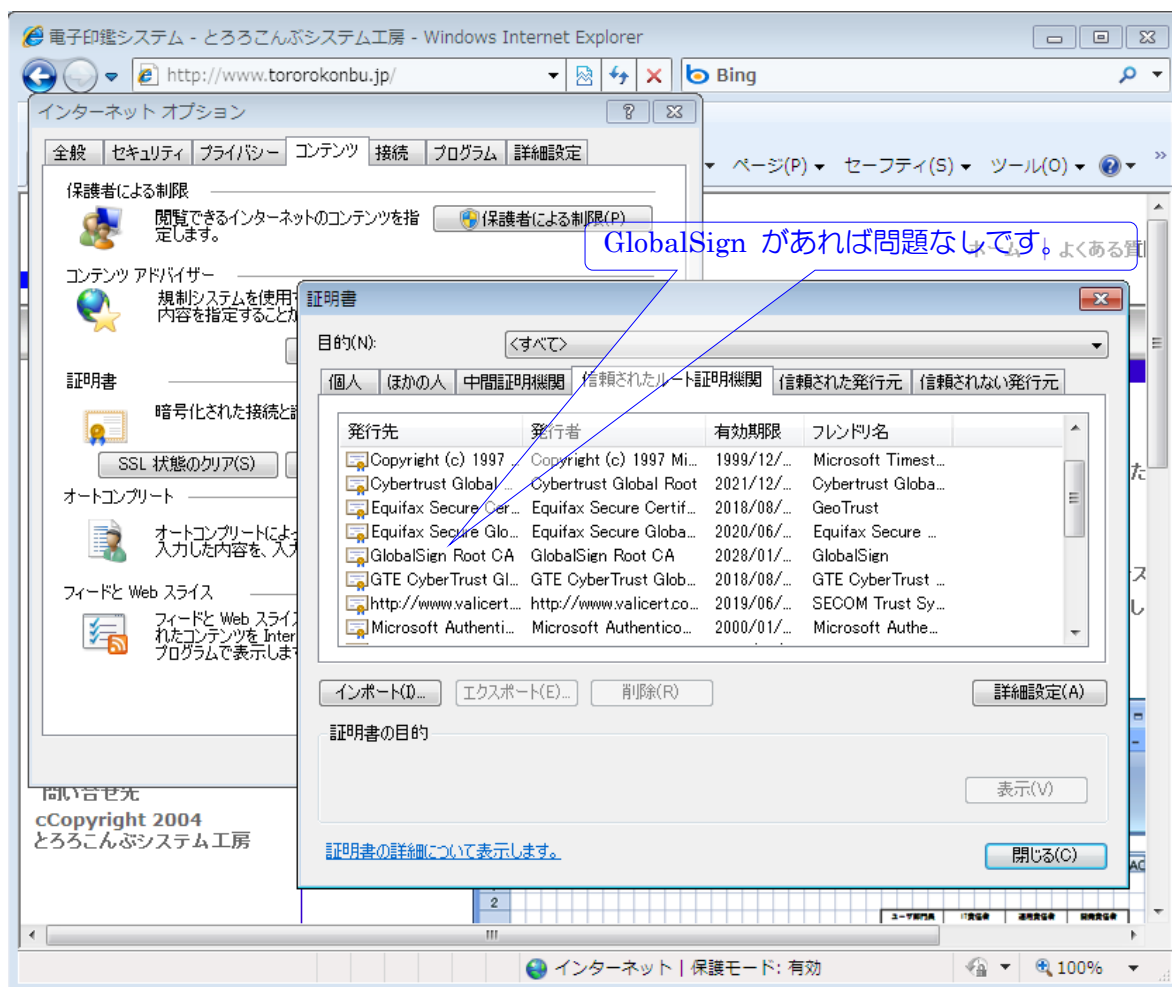


【WindowsXP の場合】

「発行元を認識できませんでした。」と表示されますので、「実行 (R)」を選択してください。



パソコンにインストールされているルート証明書はインターネットエクスプローラのオプションで確認することができます。



おわり
とろろこんぶシステム工房